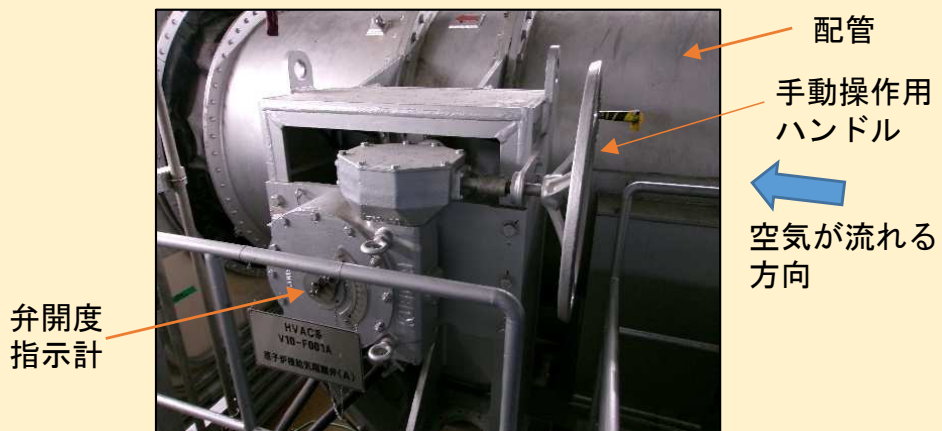
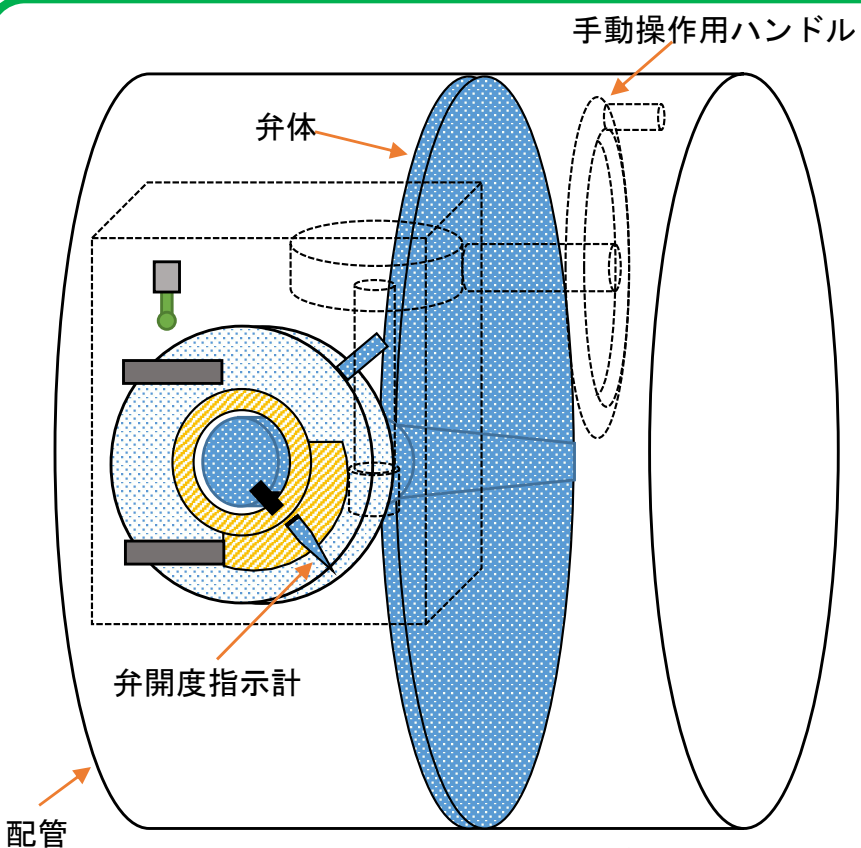


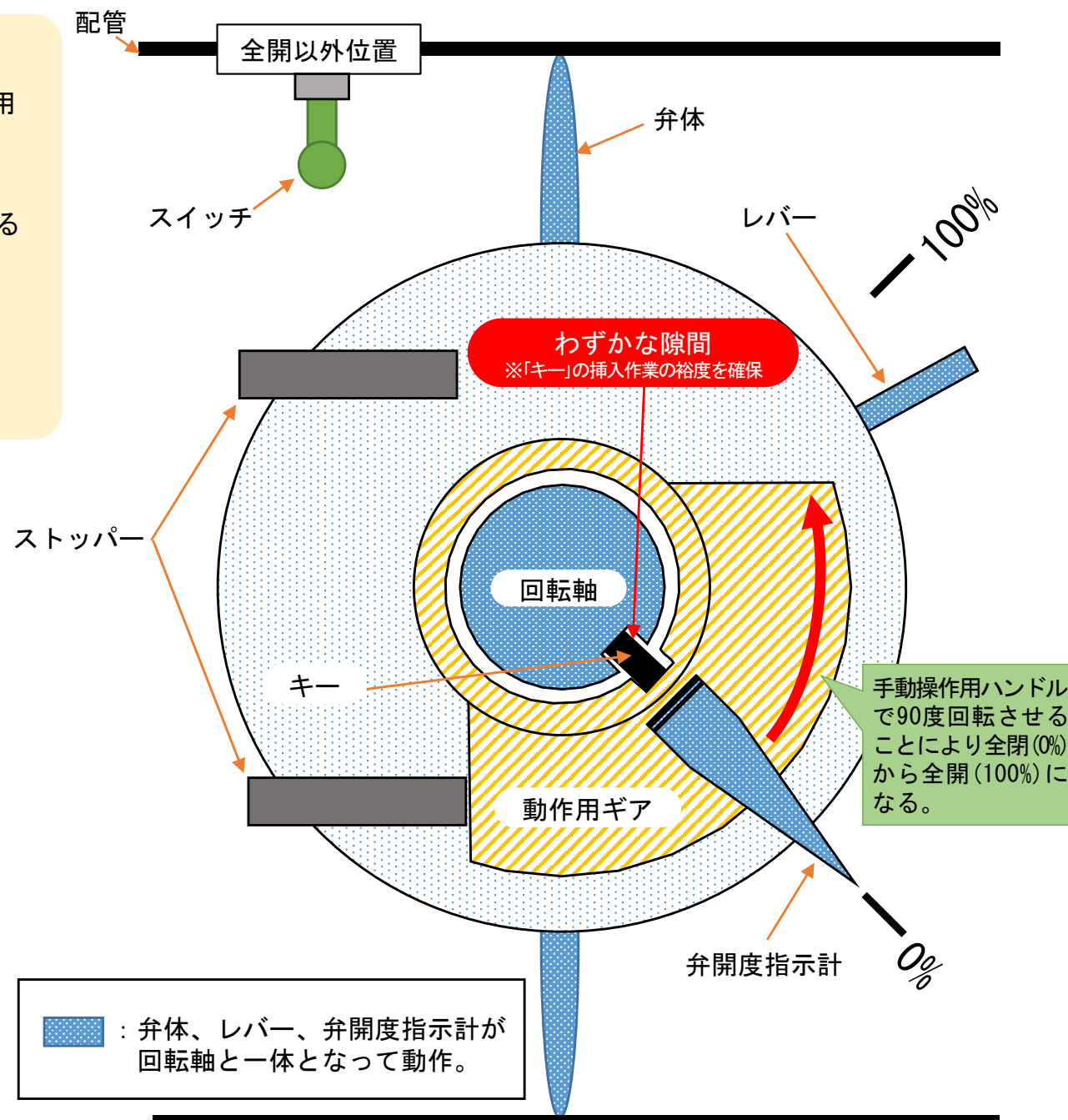
非常用ガス処理系が作動したメカニズム ～原子炉棟給気隔離弁の概要図～



原子炉棟給気隔離弁



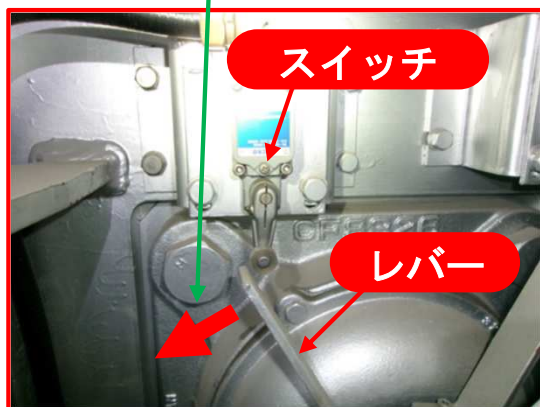
原子炉棟給気隔離弁（イメージ図）



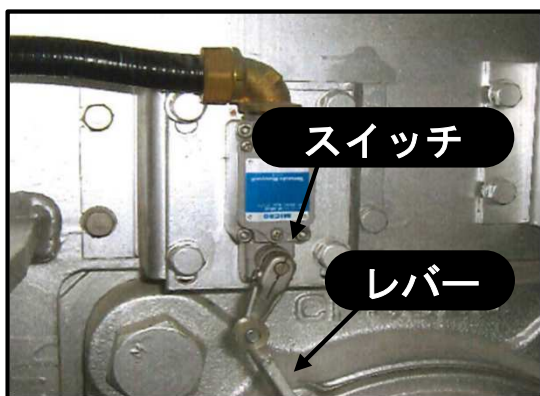
原子炉棟給気隔離弁(手動操作で「全閉」にした状態)

非常用ガス処理系が作動したメカニズム ～原子炉棟給気隔離弁の現場調査の結果～

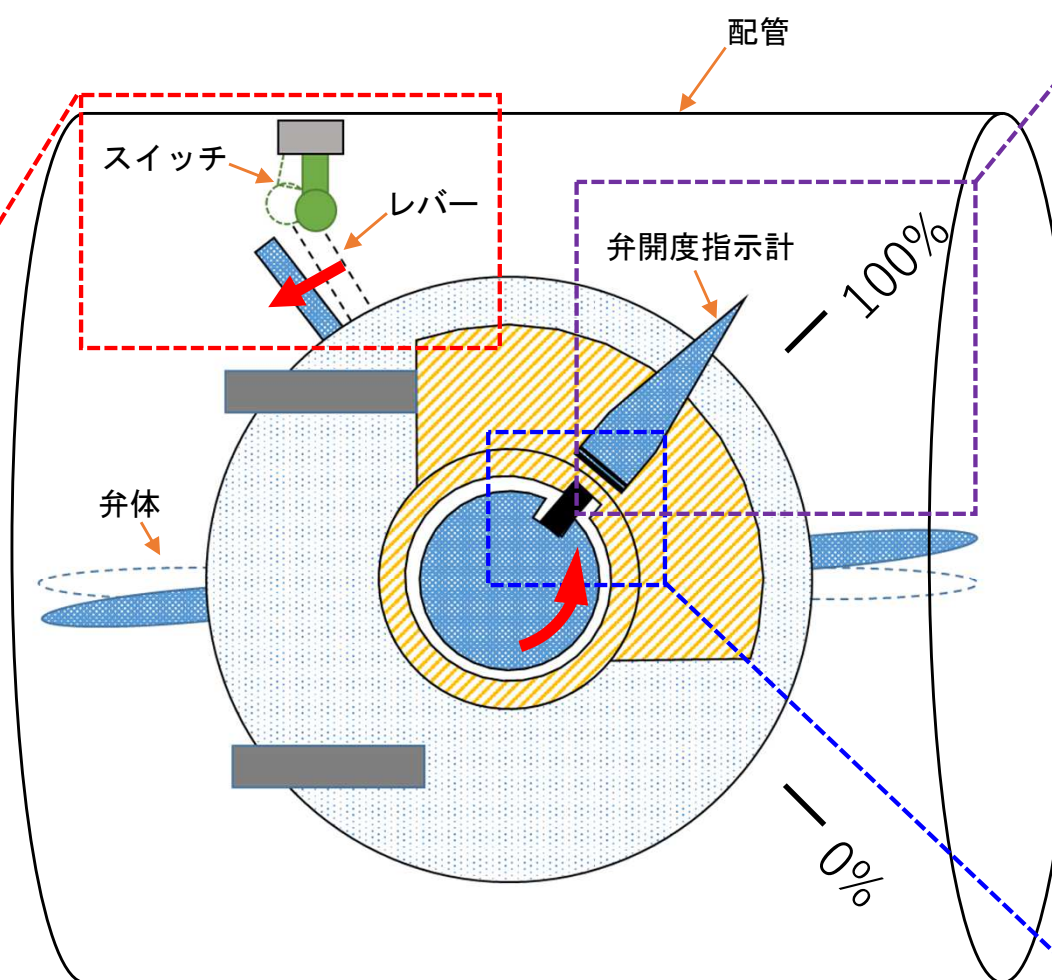
レバーがスイッチから外れ、
スイッチが「全開以外」の
状態となっていた。



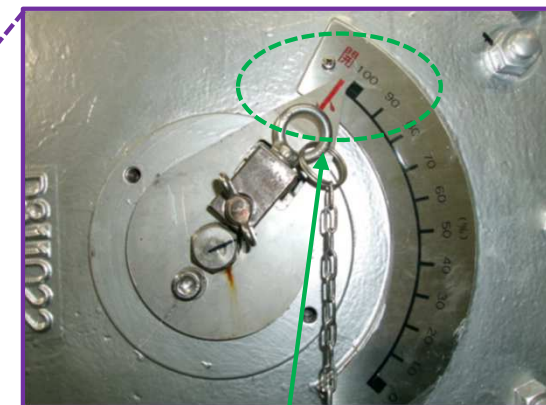
スイッチ・レバー



【参考】スイッチ・レバー
「全開」の状態

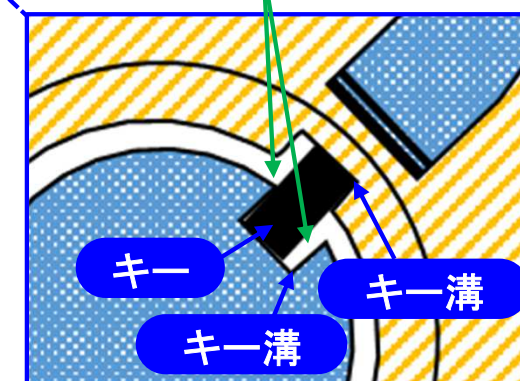


手動操作で「全開」にした状態



弁開度指示計の値が「全開」の
範囲(100%)を超過していた。

設計上、「キー」と「キー溝」
にはわずかな隙間を設けて
いる。



非常用ガス処理系が作動したメカニズム

～原子炉棟給気隔離弁の「全開」の状態を検知するスイッチがレバーから離脱した原因～

- ① 原子炉建屋の空調設備を再起動した際、空調設備の配管内を流れる空気の影響により、当該弁に力が加わり、レバーが「キー」と「キー溝」の隙間分だけ「全開」の状態よりわずかに開側に動作した。
- ② これにより、スイッチがレバーから離脱し、「全開以外」の状態を示す信号を発信した。

